

氏名	湯 浅 久 美		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 乙 第 2464 号		
学位授与の日付	平成 4 年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	眼内レンズ移植術後長期における角膜内皮細胞属性の変化		
論文審査委員	教授 増田 游	教授 赤木 忠厚	教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1984年7月から1990年2月までに、岡山大学医学部眼科で眼内レンズ移植術を施行された134眼の手術導入期の最初の2年間の29眼を前半群、以後術式の安定した時期の105眼を後半群として画像解析装置を用いて種々の角膜内皮細胞属性を比較検討した。細胞密度の減少率は前半群で明らかに大きく手術侵襲の程度をよく反映した。変動係数は、両群とも期間中有意差は認められず、六角形細胞率は術後両群ともに減少し、前半群では術後1年、後半群では術後3ヶ月頃から増え始めたが、その後の変化は手術侵襲とは無関係と思われた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

眼内レンズ移植術で、画像解析装置を用いて、術後の角膜内皮細胞の形態変化について、検討した。その結果、内皮細胞密度の減少が手術導入期で大きく、手術安定期で小さいこと、六角形細胞率が前者で術後1年、後者で術後3ヶ月から増え始めることなど、眼内レンズ移植術による角膜内皮細胞の動態について観察し、この方面の研究に新知見を加えたものとして、価値ある業績である。

よって、本研究は、博士(医学)の学位を得る資格があると認める。